

交通案内図

リーガロイヤルホテル

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番68号

TEL: 06-6448-1121



- JR「大阪」駅より
 - ・シャトルバスで約10分
 - ・大阪市営バス53系統船津橋行きで約10分「堂島大橋」下車すぐ
 - ・タクシーで約10分
- JR「新大阪」駅より
 - ・タクシーで約20分
 - またはJR在来線に乗り換え、JR「大阪」駅よりシャトルバスをご利用ください
- 地下鉄・京阪「淀屋橋」駅より
 - ・シャトルバスで約15分
 - ・タクシーで約10分
- 各線「なんば」駅より
 - ・タクシーで約15分
 - または地下鉄に乗り換え、「淀屋橋」駅よりシャトルバスをご利用ください
- 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅より徒歩約10分
- JR東西線「新福島」駅②番出口より徒歩約8分
- JR大阪環状線「福島」駅より徒歩約15分
- 阪神電車「福島」駅西③出口より徒歩約8分

リーガロイヤルホテル シャトルバス (無料) のご案内

- 大阪駅発 7:45～22:15 15分間隔 (10:00～21:00は6分間隔) で運行しています。
- 淀屋橋駅発 7:55～21:55 15分間隔で運行しています。

■ 現在、中之島通り工事のため、予定の時刻より遅れる場合がございます。
また、運行経路を変更する事もございますので、予めご了承願います。

タワーウィング 3階

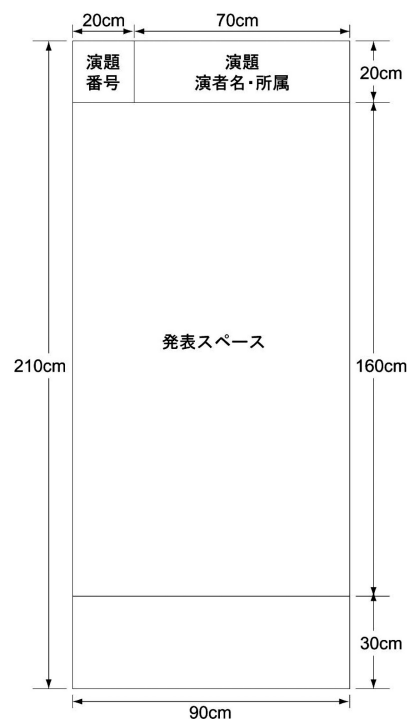


ご案内

1. 会 期 2008年7月11日（金）・12日（土）
2. 会 場 リーガロイヤルホテル（〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 TEL：06-6448-1121）
3. 会 長 東田有智（近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科）
4. 参加費 2,000円
5. 受 付 リーガロイヤルホテル タワーウイング3階 光琳前 8：30～
6. 抄録集 受付にて1冊1,000円で販売いたします。
7. 懇親会
日 時 2008年7月11日（金）18：00～
会 場 リーガロイヤルホテル タワーウイング3階 ロイヤルホール
参加費 3,000円
※インターアズマ ジャズクインテットによる演奏、「近大マグロ」の解体ショーを予定しております。
8. 役員会 役員会を下記の日時に行います。役員の先生方は、ご出席ください。
日 時 2008年7月11日（金）9：00～10：00
会 場 リーガロイヤルホテル タワーウイング2階「牡丹の間」
9. 座長へのご案内
・ご担当セッション開始10分前までに会場内の、次座長席にお着きください。
10. 演者へのご案内
・ご発表30分前までに、PC受付（リーガロイヤルホテル タワーウイング3階）にて、発表データの試写を完了させてください。
・10分前までに、次演者席にお着きください。
・発表スライドは英語で作成してください。発表は日本語でお願いいたします。
・発表データはUSBフラッシュメモリでお持ちください。
・アプリケーションソフトはMicrosoft PowerPointをご用意しております。
Windows：XP(2002), 2003, 2007
※Windows Power Point 2007でのスライド作成時の注意
スライド作成時の画面サイズはXGA（1024×768）をご確認の上、作成してください。
Power Point画面のメニューにて「スライドショー」→「解像度」で設定できます。
※動画データ使用の場合は下記のソフトで再生可能であるものに限定いたします。
Windows：Windows Media player
初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画に限ります。
・データファイル作成時のフォントはMSPゴシック、MSゴシック、またはMSP明朝、MS明朝書体等の標準フォントを使用してください。特殊なフォントは使用不可です。
・必ず事前にご自身でウイルスチェックを行ってください。
・マッキントッシュをお使いの方は必ずご自身のPCをお持ち込みください。
■PCを持ち込まれる場合のご注意
・会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状はMiniD-sub15ピンです。この形状にあったPCをご用意ください。またこの形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でお持ちになってください。
・バッテリー切れを防ぐため、必ず付属の電源アダプターをお持ちください。
・必ずバックアップ用データもご用意ください。
11. 同時通訳
招請講演1・2、Meet-the-Professor 2・3につきましては、同時通訳をご用意いたします。

12. 一般演題（ポスターセッション）について

- 1) ポスター発表は、リーガロイヤルホテル タワーウイング3階「光琳3」にて行われます。
- 2) 発表時間は1演題5分です。（発表3分、討論2分）
- 3) 座長の方へ
 - ・担当セッションの進行を時間厳守でお願いします。
 - ・担当セッション開始15分前までに会場前のポスター受付までお越しください。
 座長用リボンなどをお渡しいたします。
- 4) 発表者の方へ
 - ・右図のように、縦20cm×横70cmのサイズに演題、筆頭演者・共同演者名、所属を記入したものをご用意ください。
 - ・発表内容は右図発表スペース（縦160cm×横90cm）に収まるようにしてください。
 - ・演題番号は事務局にて用意します。
 - ・ポスターは英語で作成してください。発表は日本語でお願いいたします。
 - ・ポスターの貼付は定められた時間内に行ってください。 PUSHUPピンは貸出いたします。のり、セロハンテープ等は使用しないでください。
 - ・掲示時間が終了しましたら、ポスターは各自で撤去してください。撤去されなかった掲示物は事務局にて処分しますのでご了承ください。
- 5) 貼付・撤去（※時間厳守でお願いいたします。）



	貼付時間	撤去時間
7月11日	9:00～10:00	14:30～16:30
7月12日	8:30～9:00	13:30～15:00

13. 日本アレルギー学会専門医取得単位について

上記専門医の申請、更新の際に、ネームカードの参加証明書をご利用ください。

■問合わせ先：第18回国際喘息学会日本北アジア部会事務局

近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科 担当／富田、岩永
 〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2
 TEL：072-366-0221(内線3602) FAX：072-367-7772
 E-mail iwanaaga@med.kindai.ac.jp

■事務代行：株式会社サンプラネット 担当／高倉

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2-3-6 北浜山本ビル3階
 TEL：06-6232-3873 FAX：06-6232-0440
 E-mail h2-takakura-sun@hhc.eisai.co.jp

プログラム

2008年7月11日（金）
講演（光琳1・2）

9：00～10：00	役員会
	開会の辞
10：00～10：45	<p>ミート・ザ・プロフェッサー1：重症喘息における気道炎症の新知見 P.37</p> <p>座長：荏原 順一（秋田大学医学部 臨床検査医学講座）</p> <p>演者：永田 真（埼玉医科大学 呼吸器内科）</p> <p style="text-align: right;">（田辺三菱製薬）</p>
10：45～11：30	<p>特別講演1：気道感染を伴う急性増悪の病態と各種薬剤の影響 P.29</p> <p>座長：福田 健（獨協医科大学 呼吸器・アレルギー内科）</p> <p>演者：山谷 睦雄（東北大学大学院医学系研究科 先進感染症予防学寄附講座）</p> <p style="text-align: right;">（大塚製薬）</p>
11：30～12：20	<p>招請講演1：The importance of anti-inflammatory therapy in asthma with allergic rhinitis P.23～25</p> <p>座長：宮本 昭正（日本臨床アレルギー研究所）</p> <p>演者：David Price（Department of General Practice and Primary Care, University of Aberdeen, U.K.）</p> <p style="text-align: right;">（万有製薬）</p>
12：20～13：00	<p>ランチョンセミナー1：高齢者喘息の治療 P.43</p> <p>座長：高橋 清（国立病院機構 南岡山医療センター）</p> <p>演者：田中 裕士（札幌医科大学 第三内科）</p> <p style="text-align: right;">（小野薬品工業）</p>
14：15～14：30	コーヒースタイル
14：30～15：30	<p>招請講演2：Critical issues in asthma management P.26</p> <p>座長：足立 満（昭和大学 第一内科）</p> <p>演者：Christopher Lai（Department of Medicine and Therapeutics, The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong）</p> <p style="text-align: right;">（グラクソ・スミスクライン）</p>
15：30～17：20	<p>シンポジウム1：喘息合併COPDの診断と治療戦略 P.47～49</p> <p>座長：福地義之助（順天堂大学 客員教授）</p> <p>東田 有智（近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科）</p> <p>1. 喘息合併COPDの現状</p> <p>演者：平田 一人（大阪市立大学大学院医学研究科 呼吸器病態制御内科学）</p> <p>2. 喘息とCOPDにおける気道炎症の対比</p> <p>演者：巽 浩一郎（千葉大学大学院医学研究院 加齢呼吸器病態制御学）</p> <p>3. 喘息とCOPDにおけるearly interventionの対比</p> <p>演者：藤本 圭作（信州大学 内科学第一講座）</p> <p style="text-align: right;">（日本ベーリンガーインゲルハイム／ファイザー）</p>
18：00～20：00	懇親会（会場：ロイヤルホール）

プログラム

2008年7月12日(土)
講演(光琳1・2)

9:00~9:45	<p>ミート・ザ・プロフェッサー2: Understanding combination therapy for asthma P.38 座長: 近藤 直実 (岐阜大学大学院医学系研究科 小児病態学) 演者: Gary P. Anderson (Lung Disease Research Group, University of Melbourne, Australia)</p> <p>(アストラゼネカ)</p>
9:45~10:30	<p>特別講演2: 小児喘息~行動医学の観点から~ P.30 座長: 森川 昭廣 (希望の家附属北関東アレルギー研究所) 演者: 大矢 幸弘 (国立成育医療センター 第一専門診療部アレルギー科)</p> <p>(サノフィ・アベンティス)</p>
10:30~11:15	<p>ミート・ザ・プロフェッサー3: New approach to severe allergic asthma P.39 座長: 大田 健 (帝京大学 内科学講座 呼吸器・アレルギー学) 演者: Marc Humbert (Université Paris-Sud, France)</p> <p>(ノバルティス ファーマ)</p>
11:15~11:45	総 会
11:45~12:30	<p>ランチョンセミナー2: 喘息病態の変遷に伴う治療の発展 P.44 座長: 秋山 一男 (国立病院機構相模原病院 臨床研究センター) 演者: 相良 博典 (獨協医科大学 呼吸器・アレルギー内科)</p> <p>(帝人ファーマ)</p>
13:30~14:30	<p>招請講演3: 気管支喘息治療におけるロイコトリエン受容体拮抗薬の役割 (別刷) 座長: 中島 重徳 (近畿大学医学部 奈良病院) 演者: 橋本 修 (日本大学医学部 呼吸器内科)</p> <p>(キョーリン製薬)</p>
14:30~15:10	<p>教育講演: 小児気管支喘息と長時間作用性β2刺激薬 P.33 座長: 眞弓 光文 (福井大学医学部 小児科学) 演者: 吉原 重美 (獨協医科大学 小児科学)</p> <p>(マルホ)</p>
15:10~17:00	<p>シンポジウム2: 末梢気道病変に対する抗炎症治療 P.53~55 座長: 西間 三馨 (国立病院機構 福岡病院) 井上 洋西 (岩手医科大学医学部 内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野)</p> <p>1. 喘息における末梢気道の病態 演者: 相澤 久道 (久留米大学医学部 内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門)</p> <p>2. 小児喘息における末梢気道病変に対する治療 演者: 藤澤 隆夫 (国立病院機構三重病院 臨床研究部)</p> <p>3. 成人喘息における末梢気道病変に対する治療 演者: 土橋 邦生 (群馬大学医学部 保健学科)</p> <p>(シェリング・プラウ/大日本住友製薬)</p>
	閉会の辞

2008年7月11日（金） 一般演題（光琳3）

- 13:15~14:15 気道炎症①・炎症マーカー P.59~60
座長：久米 裕昭（名古屋大学大学院医学研究科 呼吸器内科学）
- P-01** Budesonide/formoterol合剤による喘息急性増悪抑制機序の検討
埼玉医科大学 呼吸器内科
○ 柚 知行、高久洋太郎、小林 威仁、永田 真
- P-02** The role of PC-PLC in β 2-integrin-dependent adhesion of human eosinophils
近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科
○ 市橋 秀夫、佐野 博幸、佐野安希子、山片 重良、佐藤 隆司、山縣 俊之、
宮良 高維、岩永 賢司、村木 正人、富田 桂公、東田 有智
- P-03** Effect of phosphatidylcholine specific phospholipase C in fMLP-induced eosinophil cytosolic phospholipase A₂ translocation
近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科
○ 佐野安希子、佐野 博幸、西川 裕作、内藤 映理、山片 重良、市橋 秀夫、池田 容子、
佐藤 隆司、山縣 俊之、宮良 高維、岩永 賢司、村木 正人、富田 桂公、東田 有智
- P-04** Docosahexaenoic acid (DHA) によるヒト好酸球の生存と遊走の抑制
秋田大学医学部 臨床検査医学
○ 植木 重治、木原 純子、田名邊雅子、加藤 光里、竹田 正秀、鎌田由美子、伊藤 亘、
萱場 広之、荏原 順一
- P-05** 培養気道上皮細胞および平滑筋細胞における気道リモデリング関連サイトカイン発現におよぼす神経ペプチドの影響
獨協医科大学 呼吸器・アレルギー内科¹⁾、上武呼吸器科内科病院²⁾
○ 笛木 真^{1,2)}、相良 博典¹⁾、笛木 直人^{1,2)}、太田 真弓¹⁾、岡田 壮令¹⁾、杉山公美弥¹⁾、
牧野 莊平²⁾、福田 健¹⁾
- P-06** 誘発喀痰を用いた喘息気道炎症病態の検討
埼玉医科大学 呼吸器内科¹⁾、菊地病院 内科²⁾
○ 高久洋太郎¹⁾、菊地 泉²⁾、菊地 信也²⁾、柚 知行¹⁾、永田 真¹⁾
- P-07** 喘息患者におけるCT上の気道壁厚の長期変化
京都大学医学部 呼吸器内科
○ 松本 久子、新実 彰男、上田 哲也、竹村 昌也、山口 将史、松岡 弘典、陣内 牧子、
竹田 知史、大塚浩二郎、小熊 毅、三嶋 理晃
- P-08** 喘息患者のCTにおけるモザイクパターン：自動解析の試みと病態生理学的意義
京都大学医学部 呼吸器内科
○ 小熊 毅、新実 彰男、平井 豊博、松本 久子、伊藤 功朗、山口 将史、陣内 牧子、
大塚浩二郎、竹田 知史、中治 仁志、井上 英樹、三嶋 理晃
- P-09** 喘息および遷延性・慢性咳嗽患者における呼気中NO濃度（ENO）の検討
京都大学医学部 呼吸器内科
○ 陣内 牧子、新実 彰男、松本 久子、伊藤 功朗、山口 将史、大塚浩二郎、小熊 毅、
竹田 知史、中治 仁志、井上 英樹、三嶋 理晃
- P-10** 吸入ステロイドが喘息患者の喀痰中CTLA-4陽性CD25+CD4+細胞に与える影響
久留米大学医学部 内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門
○ 川山 智隆、岩永 知秋、相澤 久道

- 13 : 15~14 : 15 **診断と治療** P.61~62
- 座長：新実 彰男（京都大学医学部 呼吸器内科）
- P-11** A Comparison of FEV_{1.0}/FVC and FEV_{1.0} percent predicted in patients with asthma
鳥取大学医学部 呼吸器・膠原病内科
○山崎 章、岡崎 亮太、長谷川泰之、渡部 仁成、清水 英治
- P-12** 吸入ステロイド+長時間作動型β刺激薬からアドエアーへの変更効果の検討
大阪市立大学大学院医学研究科 呼吸器病態制御内科学
○植田 隆子、浅井 一久、鴨井 博、金澤 博、平田 一人
- P-13** サルメテロール・フルチカゾン配合剤（SFC）とフルチカゾン（FP）の喘息患者の気道抵抗に及ぼす影響について
聖マリアンナ医科大学 呼吸器・感染症内科¹⁾、白浜医療福祉財団 川添診療所²⁾
○星野 誠¹⁾、佐治 淳子¹⁾、峯下 昌道¹⁾、白川 妙子¹⁾、宮澤 輝臣¹⁾、中川 武正²⁾
- P-14** 新規吸入ステロイド薬シクレソニド（HFA-CIC）の喘息末梢気道病変に対する効果—IOSによる検討とACTによる評価
広島アレルギー呼吸器クリニック
○保澤 総一郎、寺田 満和、保澤 真紀
- P-15** Long-term observations after add-on therapy using pranlukast in dose-reduction of inhaled corticosteroids in adult asthmatics
近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科
○佐野 博幸、富田 桂公、佐野安希子、佐藤 隆司、山縣 俊之、宮良 高維、岩永 賢司、村木 正人、東田 有智
- P-16** ロイコトリエン受容体拮抗薬抵抗性喘息に対するTh2サイトカイン阻害薬の臨床効果に関する検討
藤田保健衛生大学第2教育病院 呼吸器内科
○廣瀬 正裕、桑原 和伸、伴 直昭、畑 秀治、小林 花神、志賀 守、宮崎 淳一、堀口 高彦
- P-17** チオトロピウムが有効な気管支喘息の特徴についての検討
高知大学医学部 血液・呼吸器内科¹⁾、広島大学大学院 分子内科学²⁾
○岩本 博志^{1,2)}、横山 彰仁¹⁾、塩田 直樹^{1,2)}、庄田 浩康²⁾、春田 吉則²⁾、服部 登²⁾、河野 修興²⁾
- P-18** 喘息合併COPDに対するチオトロピウムの効果
近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科¹⁾、東大阪市立総合病院 呼吸器内科²⁾
○岩永 賢司¹⁾、内藤 映理¹⁾、市橋 秀夫¹⁾、山片 重良¹⁾、池田 容子¹⁾、佐野安希子¹⁾、佐藤 隆司¹⁾、山縣 俊之¹⁾、佐野 博幸¹⁾、宮良 高維¹⁾、富田 桂公¹⁾、村木 正人¹⁾、東田 有智¹⁾、久保 裕一²⁾
- P-19** 胃食道逆流症（GERD）を合併する喘息患者における喘息コントロール状態についての検討
広島大学大学院 分子内科学¹⁾、たかの橋中央病院 内科²⁾、高知大学医学部 血液・呼吸器内科³⁾、たかの橋中央病院 耳鼻咽喉科⁴⁾
○宮本真太郎^{1,2)}、春田 吉則¹⁾、岩本 博志³⁾、大成洋二郎¹⁾、村井 博¹⁾、服部 登¹⁾、大石 秀夫²⁾、中村 雅之²⁾、林 鷹治⁴⁾、横山 彰仁³⁾、河野 修興¹⁾
- P-20** 重症度別喘息患者の心身症的側面と一般検査所見の関係
近畿大学医学部 奈良病院¹⁾、呼吸器・アレルギー内科²⁾
○中島 宏和¹⁾、澤口博千代¹⁾、中島 重徳¹⁾、東田 有智²⁾

2008年7月12日（土） 一般演題（光琳3）

- 12：30～13：30 **病態生理** P.63～64
- 座長：保澤総一郎（広島アレルギー呼吸器クリニック）
- P-21** 高齢者喘息における、喫煙者と非喫煙者の呼吸困難感の比較
札幌医科大学 第三内科
○田中 裕士、北田 順也、田中 康正、藤井 偉、高橋 弘毅
- P-22** 咳喘息と誤って診断された非喘息症例の臨床的検討
国立病院機構相模原病院 臨床研究センター
○関谷 潔史、谷口 正実、谷本 英則、福富 友馬、小野恵美子、押方智也子、粒来 崇博、
釣木澤尚実、大友 守、前田 裕二、森 晶夫、長谷川真紀、秋山 一男
- P-23** 携帯電話による喘息テレメディスン呼吸機能モニタリング
横浜市立みなと赤十字病院 アレルギーセンター¹⁾、昭和大学 第一内科²⁾、
徳島大学病院 医療情報部³⁾
○中村 陽一¹⁾、河野 徹也¹⁾、正田 哲雄¹⁾、磯崎 淳¹⁾、川野 豊¹⁾、西岡 清¹⁾、
山本 真弓²⁾、鈴木慎太郎²⁾、足立 満²⁾、森川 富昭³⁾、森口 博基³⁾
- P-24** 外来測定および自宅測定のピークフロー値変動の比較
近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科
○佐野 博幸、内藤 映理、西川 裕作、市橋 秀夫、山片 重良、池田 容子、佐野安希子、
山縣 俊之、佐藤 隆司、宮良 高維、岩永 賢司、村木 正人、富田 桂公、東田 有智
- P-25** Influence of Asian dust storm for asthmatic patients
鳥取大学医学部 呼吸器・膠原病内科
○渡部 仁成、山崎 章、長谷川泰之、岡崎 亮太、清水 英治
- P-26** 環境因子による成人気管支喘息の増悪に関する検証
横浜市立みなと赤十字病院 アレルギーセンター¹⁾、同 内科²⁾、同 検査部³⁾、
昭和大学 第一内科⁴⁾、高知大学医学部 医学情報センター⁵⁾
○河野 徹也¹⁾、中村 陽一¹⁾、正田 哲雄¹⁾、磯崎 淳¹⁾、川野 豊¹⁾、西岡 清¹⁾、
渡辺 孝之²⁾、山村 信一³⁾、久保 信雄³⁾、山本 真弓⁴⁾、鈴木慎太郎⁴⁾、足立 満⁴⁾、
片岡 浩巳⁵⁾、井沖 浩美⁵⁾
- P-27** 性別・年齢階級別の喘息難治化因子に関する検討 ～IA net登録症例の解析～
国立病院機構相模原病院 臨床研究センター
○福富 友馬、谷口 正実、粒来 崇博、東 憲孝、谷本 英則、押方智也子、小野恵美子、
関谷 潔史、釣木澤尚実、大友 守、前田 裕二、森 晶夫、長谷川真紀、秋山 一男
- P-28** 成人喘息患者の寛解を規定する因子の検討
鳥取大学医学部 呼吸器・膠原病内科
○長谷川泰之、山崎 章、岡崎 亮太、渡部 仁成、清水 英治
- P-29** 気管支喘息と副鼻腔炎との関連
国立病院機構大阪南医療センター 呼吸器科¹⁾、大分大学医学部 脳・神経機能統御講座（第3
内科）²⁾、国立病院機構別府医療センター³⁾、わかくさ診療所⁴⁾
○松野 治¹⁾、小野恵美子²⁾、広重 滋夫²⁾、西武 孝浩²⁾、竹中 隆一²⁾、上野 拓也²⁾、
澤部 俊之³⁾、松本 哲郎⁴⁾、宮崎 英士²⁾、熊本 俊秀²⁾
- P-30** 高用量ICSでも低肺機能が持続する重症喘息—全身ステロイドによる気道可逆性の評価
国立病院機構相模原病院 臨床研究センター
○谷本 英則、谷口 正実、関谷 潔史、福富 友馬、小野恵美子、押方智也子、粒来 崇博、
釣木澤尚実、大友 守、前田 裕二、森 晶夫、長谷川真紀、秋山 一男

- 12:30~13:30 気道炎症②・喘息管理 P.65~66
 座長：森 晶夫（国立病院機構相模原病院 臨床研究センター）
- P-31** **Leukotriene B4 receptor-1 (BLT1) expression on dendritic cells is required for the development of Th2 responses and allergen-induced airway hyperresponsiveness**
 Department of Respiratory Medicine, Okayama University Graduate School of Medicine and Dentistry¹⁾, Division of Cell Biology, Department of Pediatrics, National Jewish Medical and Research Center, Denver, CO²⁾, Department of Microbiology and Immunology, James Graham Brown Cancer Center, Louisville, KY³⁾
 ○Nobuaki Miyahara¹⁾, Hiroshi Ohnishi²⁾, Hiroyuki Matsuda²⁾, Satoko Miyahara²⁾, Katsuyuki Takeda²⁾, Bodduluri Haribabu³⁾, Azzeddine Dakhama²⁾, Genyo Ikeda¹⁾, Yasuko Fuchimoto¹⁾, Hikari Koga¹⁾, Koichi Waseda¹⁾, Arihiko Kanehiro¹⁾, Mitsune Tanimoto¹⁾, Erwin W. Gelfand²⁾
- P-32** **T細胞依存性遅発型喘息反応のモデル解析**
 国立病院機構相模原病院 臨床研究センター
 ○大友 隆之、神沼 修、北村 紀子、森 晶夫
- P-33** **遅発性喘息反応（LAR）の発症における好中球の関与についての検討**
 京都薬科大学 薬理学
 ○奈邊 健、藤井 正徳、河野 茂勝
- P-34** **Interleukin-18欠損マウスにおける慢性気道炎症および気道リモデリングの抑制についての検討**
 近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科
 ○山片 重良、富田 桂公、佐藤 隆司、山藤 啓史、星 晋、西川 裕作、内藤 映理、市橋 秀夫、池田 容子、佐野安希子、佐野 博幸、宮良 高維、岩永 賢司、村木 正人、東田 有智
- P-35** **Resolvin E1 dampens airway inflammation and hyperresponsiveness in a murine model of asthma**
 Department of Medicine and Molecular Science, Gunma University Graduate School of Medicine
 ○Haruka Aoki, Takeshi Hisada, Tamotsu Ishizuka, Mitsuyoshi Utsugi, Tadayoshi Kawata, Kunio Dobashi, Masatomo Mori
- P-36** **Allergen-induced bronchial asthma in the factor V Leiden mouse**
 Division of Pulmonary and Critical Care Medicine, Mie University Graduate School of Medicine
 ○Takagi T, Gabazza EC, Naitoh M, Fujiwara A, Fujimoto H, Yamaguchi A, Kobayashi T, Kobayashi H, D'Alessandro-Gabazza, Taguchi O
- P-37** **喘息好酸球との混合培養による気道上皮細胞のリン酸化 smad2発現増強の検討**
 獨協医科大学 呼吸器・アレルギー内科
 ○岡田 壮令、相良 博典、太田 真弓、秋元 一三、笛木 真、笛木 直人、福田 健
- P-38** ***Schizophyllum commune*（スエヒロタケ）によるアレルギー性気管支肺真菌症（ABPM）の2例**
 大分大学医学部 呼吸器内科（第二内科）
 ○大谷 哲史、岡 宏亮、雨宮 由佳、岩田 敦子、甲斐 直子、園田 尚子、梅木 健二、坂下 博之、石井 寛、白井 亮、岸 建志、時松 一成、平松 和史、門田 淳一
- P-39** **ピークフロー値の変動は成人喘息患者における将来の急性増悪を予想する**
 近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科
 ○佐藤 隆司、内藤 映理、西川 裕作、市橋 秀夫、山片 重良、池田 容子、佐野安希子、山縣 俊之、佐野 博幸、宮良 高維、岩永 賢司、村木 正人、富田 桂公、東田 有智
- P-40** **Inhalation of antigen specific IgG ameliorates allergen-induced airway inflammation via FcγRIIB on lung CD11c⁺ antigen presenting cells in mice**
 Division of Respiratory Medicine, Department of Internal Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine
 ○Kazuyuki Kobayashi, Masatsugu Yamamoto, Yumiko Ishikawa, Kyosuke Nakata, Yoshihiro Nishimura

PROGRAM

Friday, July 11, 2008

9 : 45~10 : 00	Opening Remarks
10 : 00~10 : 45	<p>Meet-the-professor 1 : New aspects of airway inflammation of asthma Chair : Junichi Chihara (Department of Clinical and Laboratory Medicine, Akita University School of Medicine, Japan) Speaker : Makoto Nagata (Department of Respiratory Medicine, Saitama Medical University, Japan)</p>
10 : 45~11 : 30	<p>Plenary Lecture 1 : Pathogenesis of airway infection-induced acute exacerbations of bronchial asthma and effects of drugs Chair : Takeshi Fukuda (Department of Pulmonary Medicine and Clinical Immunology, Dokkyo University School of Medicine, Japan) Speaker : Mutsuo Yamaya (Department of Advanced Preventive Medicine for Infectious Disease, Tohoku University School of Medicine, Japan)</p>
11 : 30~12 : 20	<p>Invited Lecture 1 : The importance of anti-inflammatory therapy in asthma with allergic rhinitis Chair : Terumasa Miyamoto (Japan Clinical Allergy Research Institute, Japan) Speaker : David Price (Department of General Practice and Primary Care, University of Aberdeen, U.K.)</p>
12 : 20~13 : 00	<p>Luncheon Seminar 1 : Strategy of treatment in elderly asthma Chair : Kiyoshi Takahashi (NHO Minami-Okayama Medical Center, Japan) Speaker : Hiroshi Tanaka (Third Department of Internal Medicine, Sapporo Medical University School of Medicine, Japan)</p>
14 : 15~14 : 30	Coffee Break
14 : 30~15 : 30	<p>Invited Lecture 2 : Critical issues in asthma management Chair : Mitsuru Adachi (First Department of Internal Medicine, Showa University School of Medicine, Japan) Speaker : Christopher Lai (Department of Medicine and Therapeutics, The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong)</p>
15 : 30~17 : 20	<p>Symposium 1 : Diagnosis and strategy of treatment in COPD complicated with asthma Chair : Yoshinosuke Fukuchi (Juntendo University, Japan) Yuji Tohda (Department of Respiratory Medicine and Allergology, Kinki University School of Medicine, Japan)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Present circumstances of COPD patients with bronchial asthma Speaker : Kazuto Hirata (Department of Respiratory Medicine, Osaka City University Graduate School of Medicine, Japan) 2. Airway inflammation in asthma and chronic obstructive pulmonary disease Speaker : Koichiro Tatsumi (Department of Respiriology, Chiba University Graduate School of Medicine, Japan) 3. Early Intervention in Asthma and COPD Speaker : Keisaku Fujimoto (First Department of Internal Medicine, Shinshu University School of Medicine, Japan)
18 : 00~20 : 00	Reception

PROGRAM

Saturday, July 12, 2008

9 : 00~ 9 : 45	<p>Meet-the-professor 2 : Understanding combination therapy for asthma Chair : Naomi Kondo (Department of Pediatrics, Gifu University Graduate School of Medicine, Japan) Speaker : Gary P. Anderson (Lung Disease Research Group, University of Melbourne, Australia)</p>
9 : 45~10 : 30	<p>Plenary Lecture 2 : Childhood asthma based on the perspective of behavioral medicine intervention Chair : Akihiro Morikawa (Kibounoie-Kitakanto Allergy Research Institute, Japan) Speaker : Yukihiro Ohya (Division of Allergy, Department of Medical Specialties, National Center for Child Health and Development, Japan)</p>
10 : 30~11 : 15	<p>Meet-the-professor 3 : New approach to severe allergic asthma Chair : Ken Ohta (Department of Medicine, Teikyo University School of Medicine, Japan) Speaker : Marc Humbert (Université Paris-Sud, France)</p>
11 : 15~11 : 45	<p>General Assembly Meeting</p>
11 : 45~12 : 30	<p>Luncheon Seminar 2 : Development of treatment according to asthma condition Chair : Kazuo Akiyama (Clinical Research Center, NHO Sagamihara Hospital, Japan) Speaker : Hironori Sagara (Department of Pulmonary Medicine and Clinical Immunology, Dokkyo Medical University School of Medicine)</p>
13 : 30~14 : 30	<p>Invited Lecture 3 : The role of LTRA in the treatment of asthma Chair : Shigenori Nakajima (Nara Hospital, Kinki University School of Medicine, Japan) Speaker : Shu Hashimoto (Division of Respiratory, Nihon University School of Medicine, Japan)</p>
14 : 30~15 : 10	<p>Educational Lecture : Pediatric asthma and long-acting β 2 agonists Chair : Mitsufumi Mayumi (Department of Pediatrics, University of Fukui, Faculty of Medical Sciences, Japan) Speaker : Shigemi Yoshihara (Department of Pediatrics, Dokkyo Medical University, Japan)</p>
15 : 10~17 : 00	<p>Symposium 2 : Anti-inflammatory treatment for peripheral airway Chair : Sankei Nishima (NHO Fukuoka Hospital, Japan) Hiroshi Inoue (Division of Pulmonary Medicine, Allergy and Rheumatology, Department of Internal Medicine, Iwate Medical University School of Medicine, Japan)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Role of peripheral airway in bronchial asthma Speaker : Hisamichi Aizawa (Division of Respiratory, Neurology and Rheumatology, Department of Medicine, Kurume University School of Medicine, Japan) 2. Anti-inflammatory treatment targeted at peripheral airways in childhood asthma Speaker : Takao Fujisawa (Institute for Clinical Research, Mie National Hospital) 3. Treatment of small airway disease in adult asthmatics Speaker : Kunio Dobashi (Gunma University School of Health Sciences, Japan)
	<p>Closing Remarks</p>

PROGRAM

Friday, July 11, 2008 Poster Session

- 13 : 15~14 : 15 **Airway inflammation (I) and Inflammatory marker**
Chair : Hiroaki Kume (Department of Respiratory Medicine, Nagoya University Graduate School of Medicine, Japan)
- P-01 Inhibitory effect of budesonide alone and in combination with formoterol on IL-5 and RANTES production from mononuclear cells**
Department of Respiratory Medicine, Saitama Medical University, Japan
○Tomoyuki Soma, Yotaro Takaku, Takehito Kobayashi, Makoto Nagata
- P-02 The role of PC-PLC in β 2-integrin-dependent adhesion of human eosinophils**
Department of Respiratory Medicine and Allergology Kinki University School of Medicine
○Hideo Ichihashi, Hiroyuki Sano, Akiko Sano, Shigeyoshi Yamagata, Ryuji Sato, Toshiyuki Yamagata, Takayuki Miyara, Takashi Iwanaga, Masato Muraki, Katsuyuki Tomita, Yuji Tohda
- P-03 Effect of phosphatidylcholine specific phospholipase C in fMLP-induced eosinophil cytosolic phospholipase A₂ translocation**
Department of Respiratory Medicine and Allergology Kinki University School of Medicine
○Akiko Sano, Hiroyuki Sano, Yusaku Nishikawa, Eri Naito, Shigeyoshi Yamagata, Hideo Ichihashi, Youko Ikeda, Ryuji Sato, Toshiyuki Yamagata, Takayuki Miyara, Takashi Iwanaga, Masato Muraki, Katsuyuki Tomita, Yuji Tohda
- P-04 Docosahexaenoic acid (DHA) inhibits human eosinophil survival and chemotaxis**
Department of Clinical and Laboratory Medicine, Akita University School of Medicine
○Shigeharu Ueki, Junko Kihara, Masako Tanabe, Masahide Takeda, Yumiko Kamada, Wataru Ito, Hiroyuki Kayaba, Junichi Chihara
- P-05 Effect of neuropeptides for cytokine expression associated with airway remodeling in cultured airway epithelial and smooth muscle cells**
Department of Pulmonary Medicine and Clinical Immunology, Dokkyo Medical University¹⁾, Jobu Hospital for Respiratory Disease²⁾
○Makoto Fueki^{1,2)}, Hironori Sagara¹⁾, Naoto Fueki^{1,2)}, Mayumi Ota¹⁾, Takenori Okada¹⁾, Kumiya Sugiyama¹⁾, Sohei Makino²⁾, Takeshi Fukuda¹⁾
- P-06 Evaluation of airway inflammation of asthma using induced sputum**
Division of Respiratory Medicine, Saitama Medical University¹⁾,
Division of Internal Medicine, Kikuchi Hospital²⁾
○Yotaro Takaku¹⁾, Shinya Kikuchi²⁾, Izumi Kikuchi²⁾, Tomoyuki Soma¹⁾, Makoto Nagata¹⁾
- P-07 Long-term changes of airway wall area on computed tomography in asthmatic patients**
Department of Respiratory Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine
○Hisako Matsumoto, Akio Niimi, Tetsuya Ueda, Masaya Takemura, Masafumi Yamaguchi, Hirofumi Matsuoka, Makiko Jinnai, Tomoshi Takeda, Kojiro Otsuka, Tsuyoshi Oguma, Michiaki Mishima
- P-08 Automatic analysis of mosaic attenuation in asthma using multi-detector computed tomography (MDCT): validation and functional relevance**
Department of Respiratory Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine
○Tsuyoshi Oguma, Akio Niimi, Toyohiro Hirai, Hisako Matsumoto, Isao Ito, Masafumi Yamaguchi, Makiko Jinnai, Kojiro Otsuka, Tomoshi Takeda, Hitoshi Nakaji, Michiaki Mishima
- P-09 Utility of exhaled nitric oxide (ENO) measurement in the diagnosis of subacute and chronic cough**
Department of Respiratory Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine
○Makiko Jinnai, Akio Niimi, Masafumi Yamaguchi, Kojiro Otsuka, Tsuyoshi Oguma, Tomoshi Takeda, Hitoshi Nakaji, Hisako Matsumoto, Michiaki Mishima
- P-10 Effects of inhaled fluticasone propionate on CTLA-4 positive CD4+CD25+ cells in induced sputum in asthmatics**
Division of Respiratory Medicine, Neurology and Rheumatology, Department of Medicine, Kurume University School of Medicine
○Tomotaka Kawayama, Tomoaki Iwanaga, Hisamichi Aizawa

- 13 : 15~14 : 15** **Diagnosis and Treatment of asthma**
 Chair : Akio Niimi (Department of Respiratory Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine, Japan)
- P-11** **A Comparison of FEV_{1,0}/FVC and FEV_{1,0} percent predicted in patients with asthma**
 Division of Medical Oncology and Molecular Respiriology, Tottori University
 ○Akira Yamasaki, Ryota Okazaki, Yasuyuki Hasegawa, Masanari Watanabe, Eiji Shimizu
- P-12** **Adair(Seretide[®]) has better impact on asthma control compared with Flutide[®] plus Serevent[®]**
 Department of Respiratory Medicine, Osaka City University Graduate School of Medicine
 ○Takako Ueda, Kazuhisa Asai, Hiroshi Kamoi, Hiroshi Kanazawa, Kazuto Hirata
- P-13** **Effects of salmeterol/fluticasone propionate combination versus fluticasone propionate on airway resistance in patients with asthma**
 Division of Respiratory and Infectious Diseases, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki¹⁾, Kawazoe Clinic, Wakayama²⁾
 ○Makoto Hoshino¹⁾, Junko Saji¹⁾, Masamichi Mineshita¹⁾, Teruomi Miyazawa¹⁾, Takemasa Nakagawa²⁾
- P-14** **Effect of new ICS Ciclesonide (HFA-CIC) on small airways disease in asthma—the evaluation by IOS and ACT**
 Hiroshima Allergy and Respiratory Clinic
 ○Soichiro Hozawa, Michikazu Terada, Maki Hozawa
- P-15** **Long-term observations after add-on therapy using pranlukast in dose-reduction of inhaled corticosteroids in adult asthmatics**
 Department of Respiratory Medicine and Allergology, Kinki University School of Medicine
 ○Hiroyuki Sano, Katsuyuki Tomita, Akiko Sano, Ryuji Satoh, Toshiyuki Yamagata, Takayuki Miyara, Takashi Iwanaga, Masato Muraki, Yuji Tohda
- P-16** **Effectiveness of Th2 cytokine inhibitor in antileukotrienes-resistant asthma**
 Department of Respiratory Internal Medicine, Second Educational Hospital of Fujita Health University
 ○Masahiro Hirose, Kazunobu Kuwabara, Naoaki Ban, Hideharu Hata, Kashin Kobayashi, Mamoru Siga, Junichi Miyazaki, Takahiko Horiguchi
- P-17** **Tiotropium bromide is effective for severe asthma with non-eosinophilic phenotype**
 Department of Molecular and Internal Medicine, Graduate School of Biomedical Sciences, Hiroshima University¹⁾, Department of Hematology and Respiratory Medicine, Kochi University²⁾
 ○Hiroshi Iwamoto^{1,2)}, Akihito Yokoyama²⁾, Naoki Shiota^{1,2)}, Hiroyasu Syoda²⁾, Yoshinori Haruta²⁾, Noboru Hattoria²⁾, Nobuoki Kohno²⁾
- P-18** **The effect of tiotropium in COPD complicated with asthma**
 Department of Respiratory Medicine and Allergology, Kinki University School of Medicine¹⁾, Department of Respiratory Medicine, Higashi-Osaka City Hospital²⁾
 ○Takashi Iwanaga¹⁾, Eri Naito¹⁾, Hideo Ichihashi¹⁾, Shigeoyoshi Yamagata¹⁾, Youko Ikeda¹⁾, Akiko Sano¹⁾, Ryuji Satoh¹⁾, Toshiyuki Yamagata¹⁾, Hiroyuki Sano¹⁾, Takayuki Miyara¹⁾, Katsuyuki Tomita¹⁾, Masato Muraki¹⁾, Yuji Tohda¹⁾, Hirokazu Kubo²⁾
- P-19** **The state of asthma control in asthmatics with gastro-esophageal reflux disease**
 Department of Molecular and Internal Medicine, Graduate School of Biomedical Sciences, Hiroshima University¹⁾, Department of Internal Medicine, Takanobashi Central Hospital²⁾, Department of Hematology and Respiratory Medicine, Kochi University³⁾, Department of Otorhinolaryngology, Takanobashi Central Hospital⁴⁾
 ○Shintaro Miyamoto^{1,2)}, Yoshinori Haruta¹⁾, Hiroshi Iwamoto³⁾, Yojiro Onari¹⁾, Hiroshi Murai¹⁾, Noboru Hattori¹⁾, Hideo Oishi²⁾, Masayuki Nakamura²⁾, Takaharu Hayashi⁴⁾, Akihito Yokoyama³⁾, Nobuoki Kohno¹⁾
- P-20** **Relationship between psychosomatic aspects and routine examination data in bronchial asthmatic patients with various severities**
 Nara Hospital, Kinki University School of Medicine¹⁾, Department of Respiratory Medicine and Allergology, Kinki University School of Medicine²⁾
 ○Hirokazu Nakajima¹⁾, Hirochiyo Sawaguchi¹⁾, Shigenori Nakajima¹⁾, Yuji Tohda²⁾

PROGRAM

Saturday, July 12, 2008
Poster Session

- 12 : 30~13 : 30 **Pathophysiology**
Chair : Soichiro Hozawa (Hiroshima Allergy and Respiratory Clinic, Japan)
- P-21** **Dyspnea sensation is different between smoker and non-smoker in patients with elderly asthma**
Third Department of Internal Medicine, Sapporo Medical University School of Medicine
○Hiroshi Tanaka, Junya Kitada, Yasumasa Tanaka, Masaru Fujii, Hiroki Takahashi
- P-22** **The analysis of the cases that cough variant asthma was diagnosed by mistake**
Clinical Research Center for Allergy and Rheumatology, NHO Sagamihara National Hospital
○Kiyoshi Sekiya, Masami Taniguchi, Hidenori Tanimoto, Yuuma Fukutomi, Emiko Ono, Chiyako Oshikata, Takahiro Tsuburai, Naomi Tsurikisawa, Mamoru Outomo, Yuuji Maeda, Akio Mori, Maki Hasegawa, Kazuo Akiyama
- P-23** **Trial of telemedicine system for asthma management using mobile phone and internet**
Medical Center for Allergic and Immune Diseases, Yokohama City Minato Red Cross Hospital¹⁾, First Department of Internal Medicine, Showa University²⁾, Department of Medical Informatics, Tokushima University Hospital³⁾
○Yoichi Nakamura¹⁾, Tetsuya Kawano¹⁾, Tetsuo Syoda¹⁾, Jun Isozaki¹⁾, Yutaka Kawano¹⁾, Kiyoshi Nishioka¹⁾, Mayumi Yamamoto²⁾, Shintaro Suzuki²⁾, Mitsuru Adachi²⁾, Tomiaki Morikawa³⁾, Hiroki Moriguchi³⁾
- P-24** **Comparison between clinic and home PEF monitoring**
Department of Respiratory Medicine and Allergology, Kinki University School of Medicine
○Hiroyuki Sano, Eri Naitoh, Yusaku Nishikawa, Hideo Ichihashi, Shigeyoshi Yamagata, Youko Ikeda, Akiko Sano, Toshiyuki Yamagata, Ryuji Satoh, Takayuki Miyara, Takashi Iwanaga, Masato Muraki, Katsuyuki Tomita, Yuji Tohda
- P-25** **Influence of Asian dust storm for asthmatic patients**
Division of Medical Oncology and Molecular Respiriology, Tottori University
○Masanari Watanabe, Akira Yamasaki, Yasuyuki Hasegawa, Ryota Okazaki, Eiji Shimizu
- P-26** **Analysis of asthma exacerbation factors by monitoring of respiratory function and measurement of weather, and particulate and pollen dispersion**
Medical Center for Allergic and Immune Diseases, Yokohama City Minato Red Cross Hospital¹⁾, Department of Internal Medicine, Yokohama City Minato Red Cross Hospital²⁾, Department of Clinical laboratory, Yokohama City Minato Red Cross Hospital³⁾, First Department of Internal Medicine, Showa University⁴⁾, Center of Medical Information Science, Kochi Medical School⁵⁾
○Tetsuya Kawano¹⁾, Yoichi Nakamura¹⁾, Tetsuo Syoda¹⁾, Jun Isozaki¹⁾, Yutaka Kawano¹⁾, Kiyoshi Nishioka¹⁾, Takayuki Watanabe²⁾, Nobukazu Yamamura³⁾, Nobuo Kubo³⁾, Mayumi Yamamoto⁴⁾, Shintaro Suzuki⁴⁾, Mitsuru Adachi⁴⁾, Hiromi Kataoka⁵⁾, Hiromi Ioki⁵⁾
- P-27** **Risk factors for difficult-to-treat asthma among Japanese asthmatics stratified by gender and age: findings from the analysis of IA-net**
Clinical Research Center for Allergy and Rheumatology, NHO Sagamihara National Hospital
○Yuma Fukutomi, Masami Taniguchi, Takahiro Tsuburai, Noritaka Higashi, Hidenori Tanimoto, Chiyako Oshikata, Emiko Ono, Kiyoshi Sekiya, Naomi Tsurikisawa, Mamoru Otomo, Yuji Maeda, Akio Mori, Maki Hasegawa, Kazuo Akiyama
- P-28** **Factors associated with clinical remission in adult asthmatic patient**
Division of Medical Oncology and Molecular Respiriology, Tottori University
○Yasuyuki Hasegawa, Akira Yamasaki, Ryota Okazaki, Masanari Watanabe, Eiji Shimizu
- P-29** **Links between Asthma and Sinusitis**
Division of Respiratory Disease, Osaka Minami Medical Center¹⁾, Division of Neurology, Department of Brain and Nerve Science, Oita University Faculty of Medicine²⁾, Division of Respiratory Disease, Beppu Medical Center³⁾, Wakakusa Clinic⁴⁾
○Osamu Matsuno¹⁾, Emiko Ono²⁾, Shigeo Hiroshige²⁾, Takahiro Nishitake²⁾, Rhyuichi Takenaka²⁾, Takuya Ueno²⁾, Toshiyuki Sawabe³⁾, Tetsuro Matsumoto⁴⁾, Eishi Miyazaki²⁾, Toshihide Kumamoto²⁾
- P-30** **Refractory asthmatics showing no bronchial reversibility both with high-dose inhaled corticosteroids and β_2 agonist inhalation: Is this phenomenon considered airway remodeling?**
Clinical Research Center for Allergy and Rheumatology, NHO Sagamihara National Hospital
○Hidenori Tanimoto, Masami Taniguchi, Kiyoshi Sekiya, Yuma Fukutomi, Emiko Ono, Chiyako Oshikata, Takahiro Tsuburai, Naomi Tsurikisawa, Mamoru Otomo, Yuji Maeda, Akio Mori, Maki Hasegawa, Kazuo Akiyama

PROGRAM

- 12 : 30~13 : 30 **Airway inflammation (II) and Management**
Chair : Akio Mori (Clinical Research Center, NHO Sagamihara National Hospital, Japan)
- P-31 Leukotriene B4 receptor-1 (BLT1) expression on dendritic cells is required for the development of Th2 responses and allergen-induced airway hyperresponsiveness**
Department of Respiratory Medicine, Okayama University Graduate School of Medicine and Dentistry¹, Division of Cell Biology, Department of Pediatrics, National Jewish Medical and Research Center, Denver, CO², Department of Microbiology and Immunology, James Graham Brown Cancer Center, Louisville, KY³
○Nobuaki Miyahara¹, Hiroshi Ohnishi², Hiroyuki Matsuda², Satoko Miyahara², Katsuyuki Takeda², Bodduluri Haribabu³, Azzeddine Dakhama², Genyo Ikeda¹, Yasuko Fuchimoto¹, Hikari Koga¹, Koichi Waseda¹, Arihiko Kanehiro¹, Mitsune Tanimoto¹, Erwin W. Gelfand²
- P-32 A murine model for T cell-dependent asthmatic response**
Clinical Research Center, NHO National Hospital Organization, Sagamihara National Hospital
○Takayuki Ohtomo, Osamu Kaminuma, Noriko Kitamura, Akio Mori
- P-33 Involvement of neutrophils in the induction of late asthmatic response (LAR) in mice**
Department of Pharmacology, Kyoto Pharmaceutical University
○Takeshi Nabe, Masanori Fujii, Shigekatsu Kohno
- P-34 Interleukin-18-deficient mice diminished chronic inflammation and airway remodeling in ovalbumin-induced asthma model**
Department of Respiratory Medicine and Allergology, Kinki University School of Medicine
○Shigeyoshi Yamagata, Katsuyuki Tomita, Ryuji Sato, Hiroshi Santo, Susumu Hoshi, Yusaku Nishikawa, Eri Naito, Hideo Ichihashi, Youko Ikeda, Akiko Sano, Hiroyuki Sano, Takayuki Miyara, Takashi Iwanaga, Masato Muraki, Yuji Tohda
- P-35 Resolvin E1 dampens airway inflammation and hyperresponsiveness in a murine model of asthma**
Department of Medicine and Molecular Science, Gunma University Graduate School of Medicine
○Haruka Aoki, Takeshi Hisada, Tamotsu Ishizuka, Mitsuyoshi Utsugi, Tadayoshi Kawata, Kunio Dobashi, Masatomo Mori
- P-36 Allergen-induced bronchial asthma in the factor V Leiden mouse**
Division of Pulmonary and Critical Care Medicine, Mie University Graduate School of Medicine
○Takagi T, Gabazza EC, Naitoh M, Fujiwara A, Fujimoto H, Yamaguchi A, Kobayashi T, Kobayashi H, D'Alessandro-Gabazza, Taguchi O
- P-37 Co-cultured with atopic eosinophil and airway epithelial cells upregulate phosphorylated smad2**
Department of Pulmonary Medicine and Clinical Immunology, Dokkyo Medical University School of Medicine
○Takenori Okada, Hironori Sagara, Mayumi Ota, Kazumi Akimoto, Makoto Fueki, Naoto Fueki, Takeshi Fukuda
- P-38 Two cases of allergic bronchopulmonary mycosis caused by *Schizophyllum commune***
Department of Respiratory Medicine, Oita University
○Satoshi Otani, Hiroaki Oka, Yuka Amemiya, Atsuko Iwata, Naoko Kai, Hisako Sonoda, Kenji Umeki, Hiroyuki Sakashita, Hiroshi Ishii, Ryo Shirai, Kenji Kishi, Issei Tokimatsu, Kazufumi Hiramatsu, Jun-ichi Kadota
- P-39 PEFR variability but not exhaled nitric oxide could predict exacerbations in treated asthmatics**
Department of Respiratory Medicine and Allergology, Kinki University School of Medicine
○Ryuji Satoh, Eri Natito, Yusaku Nishikawa, Hideo Ichihashi, Shigeyoshi Yamagata, Youko Ikeda, Akiko Sano, Toshiyuki Yamagata, Hiroyuki Sano, Takayuki Miyara, Takashi Iwanaga, Masato Muraki, Katsuyuki Tomita, Yuji Tohda
- P-40 Inhalation of antigen specific IgG ameliorates allergen-induced airway inflammation via FcγRIIB on lung CD11c⁺ antigen presenting cells in mice**
Division of Respiratory Medicine, Department of Internal Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine
○Kazuyuki Kobayashi, Masatsugu Yamamoto, Yumiko Ishikawa, Kyosuke Nakata, Yoshihiro Nishimura